

●街づくり市民会議が、街中探検ツアーを開催

▲実行委員からの説明

心配した雨も朝のうちに上がり、街づくり市民会議・なかがみでは初めての催しとなる「街中探検ツアー」を11月10日(日)に、中神小学校校庭を集合会場にして実施しました。大人も子どもも参加して、交流しながら地域を知る機会にしよう、との目的で開催したものです。

ところで、「街中探検ツアー」って何？どんなことするの？と、よく耳にしました。これは、事前に設定した街中のコースを案内図に従って巡るというゲームです。コースの途中には、探検先となる施設や自然など3か所のポイントを設けました。一つ目は、中神公園にある災害対策用飲料貯水槽で、次に中神地域の鎮守さまとして親しまれている熊野神社、さらには、

その先の湧き水が流れる水路を「中神の清流」として紹介した箇所です。ゲームでは、それぞれの場所に関連した問題を出し、参加者の皆さんに答えてもらうようにしました。また、コースを正しく通過したか確認するポイントも設けました。

当日の参加者は、大人7人、子ども10人の合わせて17人でした。3つのグループに分かれて、2分間隔で中神小学校をスタートしコースを回りました。案内図の見方をすぐに理解してどん



▲案内図の見方やゲームの進め方を聞く参加者の皆さん



それぞれのポイントで探検先の施設などの説明文を読み、問題に答えました



ん進んでいくグループもあれば、案内図を慎重に確認し相談しながら回ったグループもありました。どのグループもそれぞれのポイントを見事にクリアし、無事に戻ってきました。戻った後、元々はグループ間の出発の時間差による待ち時間に行う予定で用意した「昭島関連クイズ」にも挑戦してもらいました。

参加者からは「楽しかった」という声があった反面、子どもたちからは「難しかったあ」という反応も多くありました。難しかったのは、ゲームでの案内図の見方や問題の解答、それにクイズの答えと、いろいろあったようです。しかし、難しかったからグループの中で相談したりしながら、交流が生まれ「楽しかった」という感覚につながったようにも思えます。

今回、小学生の高学年を想定してゲームの内容あるいは各ポイントやクイズの問題を作成しましたが、残念ながら小学5・6年生の参加はありませんでした。そんな中で「つまらない」「付いていけない」と感じた子もいたかもしれません。子どもを交えた交流事業などを行う場合、どの学年・年齢でも楽しめて、親しみやすい内容にするよう配慮する大事さを感じているところです。

(実行委員会 北村 実 / 写真撮影 広報部会)